

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

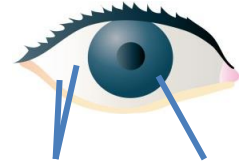
流行性角結膜炎(はやり目)が引き続き警報レベルです！

熊本市における第36週(8月31日～9月6日)の定点医療機関あたりの流行性角結膜炎患者報告数は、12.60人(定点数5ヶ所、患者報告数63人)で、先週の13.20人より微減しました。一度かかってよくなっても、別の型のウイルスに感染してまた症状が出る場合があるので、油断せず感染予防をしっかり行いましょう。

【流行性角結膜炎(はやり目)の特徴】

アデノウイルスによる疾患で、潜伏期8～14日の後、急に発症します。症状は、まぶたが腫れる、涙が出る、目やにが多くなる、耳前リンパ節が腫れる、などがあります。角膜に炎症が及ぶと、角膜が濁ることがあります。季節としては、夏に多く、幅広い年齢層に見られます。

治療は、対症療法として、抗炎症剤の点眼などを行います。



結膜 角膜

【感染予防のポイント】

アデノウイルスはとても感染力が強く、ウイルスに汚染されたティッシュペーパー、タオルなどに触れるなどして感染するので、流水と石鹸で手を洗いましょう。家族に患者がいる場合は、特に、次の点に注意をしましょう。

- ・ 家族内では、目やにや涙で汚れそうなタオル、枕などの共用は避けましょう。
- ・ 眼をさわったら、すぐに流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。
- ・ 入浴は家族内で最後にするか、入浴後の湯を交換しましょう。入浴後の残り湯は洗濯などに使わないようにしましょう。

期 間		平成27年 第35週		平成27年 第36週	
		8/24～8/30		8/31～9/6	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	4	0.25	6	0.38
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	3	0.19	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	10	0.63	20	1.25
感染性胃腸炎 流行中	➡	56	3.50	52	3.25
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	3	0.19
手足口病 流行中	➡	61	3.81	79	4.94
伝染性紅斑(りんご病)	➡	6	0.38	7	0.44
突発性発しん	➡	13	0.81	13	0.81
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	12	0.75	16	1.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	5	0.31	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目) 警報レベル	➡	66	13.20	63	12.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	3	0.60	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	9	1.80	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00